

図チャレ 第 48 回 (2005 年 9 月)

四角形 ABCD の辺 AB の中点を E, 辺 BC の中点を F, 辺 CD の中点を G, 辺 DA の中点を H とする。

- (1) 四角形 EFGH は平行四辺形であることを示せ。
- (2) AC と BD の交点が EG と FH の交点に一致するとき, 四角形 ABCD は平行四辺形となることを示せ。

解答

- (1) 位置ベクトルを $A(\vec{a})$, $B(\vec{b})$, $C(\vec{c})$, $D(\vec{d})$ で表すと,

$$E\left(\frac{\vec{a} + \vec{b}}{2}\right), F\left(\frac{\vec{b} + \vec{c}}{2}\right), G\left(\frac{\vec{c} + \vec{d}}{2}\right), H\left(\frac{\vec{d} + \vec{a}}{2}\right)$$

であり,

$$\frac{1}{2}\left(\frac{\vec{a} + \vec{b}}{2} + \frac{\vec{c} + \vec{d}}{2}\right) = \frac{1}{2}\left(\frac{\vec{b} + \vec{c}}{2} + \frac{\vec{d} + \vec{a}}{2}\right)$$

より EG と FH は互いに中点で交わるから, 四角形 EFGH は平行四辺形である。

(証明おわり)

- (2) AC の中点を M, BD の中点を N とすると,

$$M\left(\frac{\vec{a} + \vec{c}}{2}\right), N\left(\frac{\vec{b} + \vec{d}}{2}\right)$$

であり,

$$\frac{1}{2}\left(\frac{\vec{a} + \vec{c}}{2} + \frac{\vec{b} + \vec{d}}{2}\right) = \frac{1}{2}\left(\frac{\vec{a} + \vec{b}}{2} + \frac{\vec{c} + \vec{d}}{2}\right)$$

であるから, MN の中点は EG と FH の交点 P と一致する。

AC と BD の交点が P であるとき $M \neq N$ であるとすれば, P は MN の中点であるから $P \neq M$, $P \neq N$ となる。

2 点 P, M は直線 AC 上

にあるから直線 PM と直線 AC は一致し,

2 点 P, N は直線 BD 上

にあるから直線 PN と直線 BD は一致する。3 点 M, P, N は同一直線上にあるから, 2 つの対角線 AC, BD が同一直線上となって矛盾する。

したがって,

$$M = N$$

となって, 四角形 ABCD は対角線が互いの中点で交わるから平行四辺形である。

(証明おわり)